

## 平成 29 年度事業計画

自：平成 29 年 4 月 1 日～至：平成 30 年 3 月 31 日

### 1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

#### 公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

##### (1) 吟詠普及推進 吟詠地区大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又地区事情に合わせて新指導者の研修を組み込む。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・平成 29 年 6 月 11 日（日）  
約 400 名参加(内一般会員他 150 人) 於：エーリック(尼崎)
- ・九州大会 平成 29 年 6 月 18 日(日) 250 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・岡山大会 平成 29 年 8 月 20 日(日) 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・四国大会 平成 30 年 2 月 25 日(日) 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・京滋福大会 平成 30 年 1 月 28 日(日) 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・東海大会 平成 30 年 2 月 18 日(日) 300 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・和歌山大会 平成 30 年 2 月 予定 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)
- ・西中国大会 平成 30 年 3 月 17 日(土) 400 人参加予定(内一般会員他 100 人)
- ・浜松大会 平成 30 年 2 月 25 日(日) 200 人参加予定(内一般会員他 70 人)

##### (2) 吟詠普及推進 吟詠全国大会(一般来聴公募)及び各公認団体等の大会後援

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に鑑賞頂き吟詠の普及を図る。

##### ①吟詠普及推進 全国吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の自主公演を行い、素晴らしい吟詠を不特定多数の人に鑑賞頂く。

- ・平成 29 年 10 月 14 日（土） 於：大東市立サーティホール(大東市)  
約 1,200 人参加(内一般会員他 500 人) 自主公演

##### ②新春全国吟詠大会（一般来聴公募）

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、懇親を深める。

- ・平成 30 年 1 月 7 日（日） 於：太閤園ダイヤモンドホール  
約 400 人参加(内一般会員他 100 人)

- (3) 周年記念大会（一般来聴公募）  
 創立 85 周年を平成 30 年に控え、5 地区（九州・西中国・四国・東海・近畿）  
 に分けた創立 85 周年記念大会の開催準備を、準備委員会から実行委員会に切  
 替えて推進する。
- (4) 吟詠普及啓発活動の実施
- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
    - ・ 小中学での課外授業への積極的参加
    - ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
    - ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
  - ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
  - ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
    - ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供
  - ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
  - ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加
- (5) 吟詠普及啓発活動助成事業  
 前(4) 項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。
- (6) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）  
 平成 30 年 3 月 25 日（日） 約 500 人参加予定
- (7) 電磁的公報、機関誌発行
- ① 吟詠普及の為のテレビ放映の実施  
 マスコミを通じての吟詠推進活動を実施するとともに、吟界の吟詠普及推  
 進マスコミ基金への拠出を行う。
    - ・ サンテレビ・ラジオ関西他、地区の TV・ラジオ「CM」の放映。
    - ・ 吟界の吟詠普及推進マスコミ基金への拠出
  - ② ホームページでの吟詠普及
    - ・ ホームページのリニューアルの実施  
 スマホ時代に対応する為のリニューアルの実施  
 教場紹介コーナーの設置の検討
    - ・ 漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
    - ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。
  - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
    - ・ 吟詩日本を時代に即応する為のリニューアルを実施する。
    - ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
    - ・ 「吟詩日本」発行（177 号、178 号、179 号、180 号）
    - ・ 「吟詩日本」特別号発行（正会員、準会員への無料配布）
- (8) 教本発行（一般販売）
- ① 教本冊子頒布
 

新教本 A その 1 初級編(既刊)	1 冊(20 題)
新教本 A その 2(既刊)	1 冊(60 題)
新教本 A その 3(既刊)	1 冊(60 題)

教本絶句詩編	A3 ~A6(既刊)	4冊(120題)
単行本	A61~A67(既刊)	4冊(23題)
教本律詩編	B1~B3(既刊)	3冊(90題)
単行本	B31~B33(既刊)	3冊(9題)
教本古詩編	C1~C3(既刊)	3冊(65題)
教本和歌・俳句・新体詩	D1(既刊)	1冊(30題)
単行本	D11~D16(既刊)	6冊(18題)
教本副読本(アクセント入り)		
	4句詩編(既刊)	1冊
	6・8句詩編(既刊)	1冊
	長詩編(既刊)	1冊
教本縮刷本	A(絶句編)(新刊)	1冊
	B(律詩編)(既刊)	1冊
	C(古詩編)(既刊)	1冊
新教本発行	新教本Aその4(新刊)	1冊(60題)
	単行本A68(新刊)	1冊(5題)
	縮刷本A(絶句編)	1冊
	D号合本	1冊
	「和歌・俳句・新体詩」縮刷本の検討	
	論語の吟詠集の検討	

② 「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本 (ドレミファの譜面付)
- ・論語の吟詠集の作成を検討する。      ・英語テキスト作成の検討
- ・中国語(台湾語)テキスト作成の検討      ・点字テキスト作成の検討

(9) 海外移動教室の開講

- ・中国研修 (北京での漢詩の世界探訪並びに中国吟誦会との交流)  
平成29年5月16日~19日      参加者 約30人

(10) 国内移動教室の開講

- 国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上に資する。
- ・地区連合会や公認団体の集合体の主催を進める。
  - ・時期回数は未定

(11) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施 (各事業毎に呼びかける)

**公益目的2** 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会      平成29年11月12日(日)  
於：エーリック(尼崎)      参加者600人      出吟者300人

② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会

平成 29 年 12 月 10 日(日)

於：現代劇場(高槻)

参加者 600 人 出吟者 210 人

③ 全国競吟大会予選大会

大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会

岡山地区大会・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・

和歌山地区大会・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与する。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事させる。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において行い総本部長が昇段認定する。

平成 29 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 30 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施する(師範・準師範・師範)

福岡試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

広島試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

名古屋試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

③ 昇格試験及び研修会実施(総本部試験場)

師 範 平成 29 年 7 月 2 日(日)

準師範 平成 29 年 7 月 16 日(日)

師範代 平成 29 年 7 月 23 日(日)

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 10 日の東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進 研修会

公益目的事業 1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う

- ・ 吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(本部)

平成 29 年 6 月 11 日(日) エーリック(尼崎)

約 400 人参加(内一般会員他 150 人)

- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会

平成 29 年 6 月 18 日(日) 約 300 人参加(内一般会員他 150 人)

- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会

平成 29 年 8 月 20 日(日) 約 200 人参加(内一般会員他 100 人)

- ・ 吟詠普及推進研修会名古屋地区大会

平成 30 年 2 月 18 日(日) 約 200 人参加(内一般会員他 100 人)

- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会  
平成30年2月25日(日) 約200人参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会浜松地区大会  
平成30年2月25日(日) 約200人参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会  
日時未定 約200人参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会  
平成30年3月17日(土) 400人参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会  
平成30年1月28日(日) 約200人参加(内一般会員他100人)

## ②指導者研修会

- ・ 推薦師範講習会・・・平成29年6月11日(日)  
於：エーリック(尼崎)
- ・ 本部研修会(平成30年度師範昇格試験課題詩講習)  
平成29年9月3日(日) 於：大東市市民会館大ホール  
吟詠6題 和歌3題 約400人参加
- ・ 本部研修会(平成30年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)  
平成29年11月26日(日) 於：エーリック(尼崎)  
律詩8題 絶句10題 約400人参加
- ・ 新教本講習会  
平成29年5月14日(日) 於：エーリック(尼崎)  
四句詩5題 約400人参加  
平成29年9月10日(日) 於：大東市市民会館

## ③新指導者養成講座「東明未来塾」の開設

漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修

### ○総本部コース

- ・ 開催回数  
平成29年5月27日(土) 平成29年7月22日(土)  
平成29年9月30日(土) 平成29年11月25日(土)  
平成30年1月27日(土) 平成30年3月24日(土)  
受講者数 50人

### ○地方コース

- ・ 西中国地区  
平成29年10月21日(土) 平成29年12月17日(土)  
平成30年2月18日(土)  
受講者数 30人以上
- ・ 東海地区(静岡・愛知・三重含) 3回/年間  
・ 四国地区  
平成29年6月24日(土) 平成29年8月26日(土)  
平成29年10月21日(土)  
受講者数 35人予定
- ・ 九州地区(福岡・鹿児島) 3回/年間

④吟道大学講座の開講

- ・平成30年2月3日～4日 於：パナソニックリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修 参加者 約150人

⑤ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄
- 年12回(前期、後期に分けて)
- 於：総本部 会議室 参加者数 延 約600人

⑥ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

4回/年 参加者数 400人

⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・2カ月1回(年6回) 午後1時～4時00分迄
- 於：総本部 会議室 参加者数 延 約400人

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

- ・教養指導部指導科会 10回以上/年
- ・教養指導部教養科会 6回以上/年
- ・秀詠グループ吟詠研究会 6回以上/年
- ・教本改訂委員会 10回以上/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・広報部 10回/年
  - ・ホームページ委員会 10回/年
- 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。
- ・企画事業部 10回/年
  - ・青年部 10回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

- ・作詩添削委員会

## 2. 収益事業

### 収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布する。

#### (1) 参考図書販売

- ①漢詩詳解
- ②誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③作詩便覧 宮崎東明編
- ④作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行  
中国編 関西吟詩文化協会発行

#### (2) CDの頒布

- ①俳句新体詩伴奏曲編
- ②和漢名詩選(1) (既存) ③和漢名詩選(2) (既存)
- ④和漢名詩選(3) (既存) ⑤和漢名詩選(4) (既存)
- ⑥和漢名詩選(5) (既存) ⑦本部指導者研修会収録編
- ⑧伴奏曲集(俳句・新体詩) (既存)
- ⑨国歌・関西吟詩会歌伴奏編 (既存)

#### (3) DVDの頒布

- ①李白 ②坂本龍馬 ③勝海舟
- ④西郷南洲 ⑤高杉晋作 ⑥吉田松陰
- ⑦義経

### 収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

#### (1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

##### ① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成29年7月1日

平成30年1月1日

##### ② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成29年9月1日

##### ③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

平成29年9月2日

#### (2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

### 3. 相互扶助事業

#### その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- |                      |        |                      |
|----------------------|--------|----------------------|
| (1) 東明祭の開催           |        | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) | 東明祭    | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (3) 敬老祝、成人祝          | 東明祭    | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施        | 東明祭    | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
|                      | 表彰 吟功章 | (上師範、高師範、総師範、宗 範)    |
|                      | 特別昇格   | (上師範、高師範、総師範)        |
|                      | 特別功労章  | (宗 帥)                |

### 4. その他の事業 (法人会計事業)

#### 当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催  
平成 29 年 6 月 3 日 (土) 於:エーリック(尼崎市)
- (2) 各種会議
  - ① 総会
  - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
  - ③ 元老・相談役・参与会議
  - ④ 部 会 (総務部・財務部)
  - ⑤ 懇談会  
青年部員懇談会  
都府県連合会代表者会議  
都府県連合会連絡協議会  
公益業務改善委員会
  - ⑥ 東明未来塾運営委員会
  - ⑦ 特別審議委員会
  - ⑧ その他特別検討委員会

以上